

# はねっと 11

## 仙台市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



仙台をワクワクさせる人物をご紹介します

会社だけではなく、  
地域全体を良くすることで  
東北の未来をつくる「人」が  
集まるまちにしたい

まえかわ まさたか  
hito-koto 代表 前川雅尚さん(35)

前川雅尚さんは、企業の人事に関する課題を解決するフリーランス事業「hito-koto」を展開しています。「会社を動かしてくれるのは人です。人事部は本来、人材を戦略的に採用し育てることに加え、経営者と現場の間に立ち人事制度を整えるなど、会社のビジョンを実現するための重要な部署。しかし地方では、経理や総務の担当者が兼務しており、人事の仕事の中でも入社手続き・給与計算などの事務的な労務に偏る会社が多い」といいます。「東北の企業がさらに成長するための力になりたい」と、人事のノウハウを伝えています。同時に熱を入れて取り組むのが、地域での様々な活動です。「面白く、魅力あるまちにしたい」と、働く同年代同士が交流できる場をつくったり、ローカルニュースの執筆をしたり、商店街を紹介する動画の製作に関わったりしています。自身の仕事と、活動の両方に共通しているのは、「東北を、人が集まり活気あふれる場所にしたい」という思いです。

仙台市出身の前川さん。「東北の大学を卒業しても、東京の大手企業に就職する学生があまりに多い」と感じていました。地元2社で労務業務、人事部を経験後、「hito-koto」を創立。同じ頃、まちが面白くなりそう



な様々な活動に興味を持ち参加するようになりました。「住みたいと思えるまちにすることで、人が集まり仕事も生まれ、地域が盛り上がっていく。まちに目を向けてみたことで、仕事と地域はつながっていることに気付けた」と振り返ります。活動を通じて「一緒に何かやろう」と話せる仲間の輪も広がりました。

夢は、東北で求人情報と暮らしの情報が一緒に見られるサイトをつくること。地元で働き、暮らし続けるためのより良い未来をつくり出そうとしています。

**hito-koto** HP:<https://www.hito-koto.com/>



社会のちょっと「いづい」を考えるチャンネル いづいっちゃんねる

前川さんも記事を投稿しているローカルニュースサイトTOHOKU360とサポセンは、「いづいっちゃんねる」というYouTube番組を協働で定期配信しています。毎回ひとつの社会課題をテーマに、仙台を中心に課題解決に取り組んでいる団体を招き、現場の生の声をお届けするトーク番組です。

番組は  
こちらから





## 市民活動突撃レポート！

認定NPO法人あかねグループ 事務局長 <sup>はら みか</sup> 原美香さん

### どんな時も地域で支え合える暮らしを目指して

認定NPO法人あかねグループは、仙台市若林区遠見塚を拠点に活動を始めて38年。「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように」と、特に高齢者が自立して生活するためのトータルサポートをしています。その中の一つ、配食サービス事業では、栄養バランスの取れた、家庭的な味の弁当で、高齢者や障がい者の孤食を支えようと毎日約200食を配達。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中も休むことなくサービスを続けています。感染拡大予防のため外出自粛を余儀なくされた時期、食事だけでも利用者



者に楽しんでもらおうと、献立は季節感のあるものにと心がけました。お盆は親戚との集まりを自粛した人が多かったため、献立には宮城県の郷土料理ずんだ和えや、天ぷら、味付けごはん等を入れました。弁当と一緒に届けているお便りの返信には、「お弁当だけが楽し

◀ 天ぷらがとても喜ばれたお盆の弁当

み]「おかげ様で、近頃少し元気が出てきた」という声や、時には「疫病退散」とアマビエのイラストが寄せられることも。感染防止のため配達時の会話は減りましたが、お便りの返信には、いつも以上に回答が寄せられました。事務局長の原美香さんは、「こんな時だからこそ、励まし合い、地域で支え合って乗り切っていきたい」と、前を向きます。



弁当配達の様子  
感染防止でマスク着用▶

#### 認定NPO法人あかねグループ

〒984-0823 仙台市若林区遠見塚1-5-35 Tel:022-285-0945

HPはこちら▶



パート・ボランティア  
募集情報はこちら▶



活動を始める一歩を応援します。

### 東日本大震災から「10年目の手記」を書いてみませんか？

震災が起きてからのおよそ10年のあいだで、「忘れられない」「忘れたくない」「覚えていたい」東日本大震災にまつわる手記を募集しています。

○最終募集締切：2021年1月22日（金）

※募集期間中にいただいた手記は随時選考し公開

○対象：どなたでも応募できます。

○採用となった手記は、以下の方法で公開します。

- 1.オンラインラジオプログラム「10年目をさくラジオ モノノク」内で朗読
- 2.ウェブサイト「Art Support Tohoku-Tokyo 2011→2021」に掲載

詳しい内容（文字数、必要事項など）は募集フォームからご確認ください▶

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京  
企画運営：一般社団法人NOOK

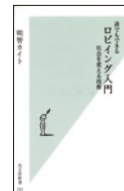


サポセン蔵書から活動に役立つ書籍をご紹介します

### 誰でもできるロビイング入門 社会を変える技術

「ロビイング」とは、新しい法律や制度をつかってほしい時など、自分の望む政策実現のために国会議員や官僚に直接働きかけることです。本書では、業界団体による利益を目的としたロビイングとは異なる、弱者やマイノリティの権利擁護などを目的とした「草の根ロビイング」に着目。5人の社会起業家や活動家が実践した、いじめ、自殺、待機児童問題などに関するロビイングを紹介しています。選挙やデモ以外の、政治への関わり方を知りたい人におすすめです。

著者 明智カイト  
発行所 光文社新書



## つながる つなげる サポセン

### 仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 11月11日（水）、25日（水）

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日（祝日の場合は翌日木曜日）年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

[ツイッター] @SCSC4CA

「ばれっと」バックナンバーは  
ホームページからダウンロードできます。



「ばれっと」は、市民ライターと協働で制作しています。ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行 仙台市市民活動サポートセンター  
（指定管理者：特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター）

発行日 2020年11月1日

デザイン PEACE Inc.

#### 「ばれっと」紙面についてのお知らせ

新型コロナウイルスの影響により、社会情勢の変化が著しい中、市民活動の現場で起こっている状況に柔軟に対応するため、2020年7月号より紙面構成を変更しています。引き続きご愛読よろしく申し上げます。